

イタリア ブックフェア

3.31(木)~4.16(土) イタリア文化会館
11:00~18:00 入場無料 エキジビジョンホール

PRIMAVERA

春

2016



日本語で読むイタリア L'Italia nei libri giapponesi

春の恒例となった「イタリアブックフェア」は、今年で第8回を迎えます。
主に2013年以降に出版された約700点のイタリア関係の日本語書籍と、
イタリア語書籍やCD、DVDを販売します。

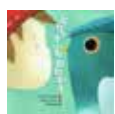
• 特別展示 1

[オリベッティの名機と広告ポスター展]
olivetti design タイプライターから聞こえる
スタックカートビート

オリベッティデザイン



• 特別展示 2



あなたの言葉で絵本を
~いたばし国際絵本翻訳大賞~

©2009 Topipittori



お問い合わせ イタリア文化会館図書室

東京都千代田区九段南2-1-30 Tel. 03-3264-6011(内線23)

E-mail: biblioteca.iictokyo@esteri.it

主催

ISTITUTO
italiano
DI CULTURA
TOKYO

協力

dp
シーライト
パブリッシング

宇都宮美術館
Utsunomiya Museum of Art

ノアックス(株)
板橋区立いたばしポロニャ子ども絵本館

販売コーナー出展協力

紀伊屋書店新宿南店
イタリア書房
タクト

今年が日伊外交関係樹立150周年にあたるのを記念して、日本でもさまざまな文化活動を展開してきたオリベッティ社が制作した映画『京』の特別上映会を企画しました。これを機にオリベッティ社の製品やポスターなどを展示するほか、22回を数える「いたばしポローニャ国際絵本翻訳大賞」のイタリア語部門の紹介もします。そのほか、本にまつわる多彩なイベントを開催し、それぞれのテーマに関連する書籍を集めて、みなさまのご来場お待ちしております。

● 特別展示 1

olivetti design

オリベッティ デザイン

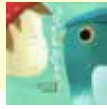
「オリベッティの名機と広告ポスター展」
タイプライターから聞こえる
スタッカートビート

イタリアを代表する企業、オリベッティ社。100年を超える社史のなかで、同社のものづくりに携わった作り手は数知れません。魅力的な製品や、デザイナーの個性を存分に生かした広告ポスターを通して、オリベッティ社が築いてきたデザインポリシーをご紹介します。



企画協力:宇都宮美術館 展示作品提供:ノアックス樓

● 特別展示 2



～いたばし国際絵本翻訳大賞～
あなたの言葉で絵本を

「いたばし国際絵本翻訳大賞」は、1994年から続く絵本翻訳コンテストです。第14回から22回までのイタリア語の課題絵本と、受賞作をもとに出版された日本語の絵本および審査員の講評を展示します。

企画協力:板橋区立いたばしポローニャ子ども絵本館

上映会

「GRAND'ITALIA 2016 現代イタリアのカリスマたち」

【時間】 各日18:30 【場所】 B2F アニエッリホール 入場無料 **要申込A**

去年に引きつづき、インタビューを中心に構成されたシリーズ第2弾の上映会。取り上げるのは各日二人ずつ(各30分、日本語字幕付き)。

- 3/31(木) ニコラ・ピオヴァーニ(作曲家) / パオロ・ソレンティーノ(映画監督)
- 4/ 1(金) マリオ・ドンデロ(写真家) / アレッサンドラ・フェリ(バレリーナ)
- 4/ 8(金) カルロ・ロヴェッリ(物理学者) / ジョヴァンニ・ソルディエリ(ヨットレーサー)

3月31日と4月1日は上映にあたり、企画・監修者のフランコ・マルコアルティ氏が制作の意図や撮影中のエピソードなどを語ります。また、4月8日にはカルロ・ロヴェッリの著書を翻訳した関口英子氏による解説があります。

3.31(木), 4.1(金), 8(金)

絵本の朗読

「イタリアの絵本と音楽の コラボレーション Viva Vivace!」

音楽と朗読のグループ Vivace

今年、いたばし国際絵本翻訳大賞イタリア語部門受賞の絵本も音楽とともにお届けします。ピアノ、波紋、さまざまな楽器の音色もどうぞお楽しみ下さい。

【時間】 13:00～13:30 【場所】 1F ブックフェア会場
14:30～15:00 入場無料

4.3(日)

トークセッション

「翻訳絵本ができるまで いたばし国際絵本翻訳大賞からのスタート」

関口英子(翻訳家) × やまねかずこ(翻訳者) × 西山雅子(編集者)

【時間】 15:30-16:30 【場所】 B2F ホワイエ 入場無料 **要申込B**

第20回大賞受賞作で初の翻訳絵本「とびっきりの おむかえ」を送り出したばかりのやまねかずこさん、ジャンニ・ロダリーをはじめイタリア文学の翻訳で知られる監修の関口英子さん、同書ほかブルーノ・ムナリーの翻訳絵本を編集した西山雅子さんを迎え、翻訳文が「絵本」として刊行されるまでの感動や裏話、昨今の翻訳・出版事情などを語っていただきます。

4.3(日)

講演会

「シェイクスピアのイタリア」

ナディア・フジーニ (英文学者、作家)

【時間】 18:30 【場所】 B2F ホワイエ 入場無料 **要申込A**

ルネサンス期のイギリスでは、イタリアは洗練された文化的な国として、芸術作品のロケーションに多くとりあげられました。シェイクスピアの作品にもイタリアの小説や民間に伝わる物語を劇化したものがあります。シェイクスピアとイタリアの関係について、英文学者で作家のナディア・フジーニ氏が語ります。(日伊逐次通訳付)

4.4(月)

イベントへの参加申し込み

要申し込みのイベントに参加ご希望の方は、日時とイベント名を件名として、お名前、電話番号、参加人数を明記の上、メールにて下記アドレスまでそれぞれお申し込みください。

要申込A 送信先アドレス **eventi.iictokyo@esteri.it**

要申込B 送信先アドレス **biblioteca2.iictokyo@esteri.it**

著者による本の紹介

いちぐちけいこ『北イタリアまったりマンガ家夫婦日記』

【日時】 4月9日(土) 14:00～15:00 (竹書房)

【場所】 1F ブックフェア会場 入場無料

「人生やり直そう」と決心した作者が、大学で学んだ語学だけを頼りに向かったのは、北イタリアの町ポローニャでした。スーツケースひとつ持って辿り着いた町で友人ができ、どうにかこうにか仕事を始め、そして人生の伴侶にも出会った20年に及ぶイタリア暮らし。それがエッセイ漫画になりました。作品の中では描ききれなかったエピソードも聞けちゃう、トーク&サイン会です。

池田匡克『ローマ美食散歩 永遠の都を食べ歩く』

【日時】 4月10日(日) 11:30～12:30 (ダイヤモンド・ビッグ社)

【場所】 B1F 視聴覚室 入場無料

イタリア旅行では必須の地とされながらもなぜか美食とは無縁とされていたローマ。新しい目で見直すよせ立ち寄りしたい美食スポットがたくさんあります。読んで楽しい、聞いて目ウロコな美食散歩の極意を伝授。

4.9(土), 10(日)

トークセッション

「フィレンツェの博物館 漫画になる」

いちぐちけいこ(漫画家・作家)

【時間】 18:30 【場所】 B2F ホワイエ 入場無料 **要申込B**

フィレンツェの老舗革靴メーカー「イル・ビジンテ」のオーナー兼デザイナーであるワニー氏が、漫画の主人公になった! 舞台は、フィレンツェ市内の高台に実在するスティッペルト博物館。海外では最大級ともいわれる日本の甲冑コレクションを所蔵するこの博物館の存在を、ぜひ、日本の皆様にも知ってもらいたい。そんなワニー氏の希望で生まれた漫画本を、ブックフェア期間中に無料配布します。日本では余り知られていないスティッペルト博物館の様子をご紹介します。

4.12(火)

上映会

映画『京』(1968年作品)

監督:市川崑 脚本:谷川俊太郎 音楽:武満徹

【時間】 18:30 【場所】 B2F アニエッリホール 入場無料 **要申込A**

映画『京』は監督の市川崑をはじめ、日本を代表するアーティストが共同で作りあげた作品で、イタリアのオリベッティ社が資金を出して制作されました。この映画は、企業は社会に対して物質的だけではなく、文化的な貢献もしなくてはならないとのポリシーの企業精神が結実した貴重な例で、2015年市川崑の生誕100年を記念してDVD化されました。上映前に脚本を担当した谷川俊太郎氏のお話があります。

4.13(水)

地下鉄「九段下」駅下車(出口2) 徒歩約10分

ISTITUTO ITALIANO DI CULTURA TOKYO

イタリア文化会館

ISTITUTO ITALIANO DI CULTURA

東京都千代田区九段南 2-1-30
2-1-30, Kudan Minami,
Chiyoda-ku, Tokyo 102-0074
<http://www.iictokyo.esteri.it>

※駐車場はありませんので、車での来場はご遠慮下さい。